

グランシップ “本と音楽の素敵な出会い”

「羊と鋼の森」

2016年に本屋大賞を受賞、2018年に山崎賢人主演で映画化もされた
若き調律師の物語「羊と鋼の森」。

ピアノの音に魅せられた作家・ピアニスト・調律師が、
トークに演奏、調律の実演と、様々な視点で作品の魅力に迫ります。



ピアニスト
福間洸太郎



作家
宮下奈都



調律師
外山洋司

曲目

ショパン：ノクターン 嬰ハ短調「レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ」
ワルツ第6番 変ニ長調「子犬のワルツ」

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第23番 へ短調 op.57「熱情」

リスト：二つの演奏会用練習曲より「森のささやき」 他 ※曲目は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

ナビゲーター
浦久敏彦

(文化芸術プロデューサー)

全席指定 一般 3,800円 子ども・学生 1,000円

■ グランシップ友の会先行販売:12月12日(日)~12月18日(土) ■ 一般発売:12月19日(日)~

※子ども・学生は28歳以下の学生。未就学児入場不可。

※グランシップ友の会会員特典対象事業

※「静岡県高校生アトラリー」対象事業

チケット販売・お問い合わせ グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000 (10:00~18:30/休館日を除く)

グランシップホームページからも購入できます。(コンビニ引取手数料無料)

<http://www.granship.or.jp>

最新情報は
こちらから



2022年3月18日(金) 19:00開演(18:30開場)

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

主催 公益財団法人静岡県文化財団、静岡県

後援 静岡県教育委員会

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

「森のような」

どうしてこんなにピアノの音が好きなんだろうと思っていました。曲によって、弾く人によっても、音色がすっかり変わるのも不思議でした。あるとき、ピアノの中に羊がいることを知り、そうか、ピアノは森だったのか、と思いました。人によって森の歩き方はさまざまです。木が好きなの人も、草を愛でる人もいます。陽が差し、鳥が鳴き、風がそよぎ、泉が湧く、深い森を分け入っていくようなピアノの音が好きです。

宮下奈都



「羊と鋼の森」文春文庫
定価:本体650円(税別)
ゆるがされている。世界と調和している。それがどんなに素晴らしいことか。言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい。ピアノの調律に魅せられた一人の青年が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。

宮下奈都

Natsu Miyashita

作家

1967年、福井県福井市出身。89年上智大学文学部哲学科卒業。2004年、初めて書いた小説「静かな雨」で第98回文壇新人賞佳作に入選、デビュー。

著書に『スコアNo.4』(2007年光文社)、『遠くの声に耳を澄ませて』(09年新潮社)、『よろこびの歌』(09年実業之日本社)、『太陽の Pasta、豆のスープ』(10年集英社)、『田舎の紳士服店のモデルの妻』(10年文藝春秋)、『メロディ・フェア』(11年ポプラ社)、『誰かが足りない』(11年双葉社)、『窓の向こうのガーシュウィン』(12年集英社)、『はじめからその話をすいばよかった』(エッセイ集/13年実業之日本社)、『ふたつのしるし』(14年幻冬舎)、『たった、それだけ』(14年双葉社)、『神さまたちの遊ぶ庭』(エッセイ集/15年光文社)などがある。『羊と鋼の森』(15年文藝春秋)は、TBS系「王様のブランチ」ブックアワード2015大賞受賞、「2016年本屋大賞」第1位、「キノベスト2016」第1位で、史上初の三冠を受賞した。近著は『ワンさぶ子の怠惰な冒険』(21年光文社)。



©堀田芳香

福間洸太郎

Kotaro Fukuma

ピアニスト

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学で学ぶ。20歳でクリーヴランド国際コンクール優勝(日本人初)およびショパン賞受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、サントリーホールでリサイタル他、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラとの共演も多数。2016年7月にはネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。CDは「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集(ナクソス)など、これまでに16枚をリリース。

現在ベルリン在住。

オフィシャル・サイト:<http://www.kotarofukuma.com>



©Masaki Hiraga

外山洋司

Hiroshi Toyama

調律師

1963年愛媛県宇和島市生まれ。高校卒業後ヤマハの調律学校に学ぶ。地元で一般家庭での調律に従事したのち、スタインウェイピアノの音に惹かれ、88年東京の松尾楽器商会に入社。独ハンブルクのスタインウェイの工場で「整音」を重点的に学んだ後、全国のコンサートホールのスタインウェイの修理、保守管理、内外ピアニストのコンサート調律を担う。2015年einklangの屋号で独立。



浦久敏彦

Toshihiko Urahisa

構成・ナビゲーター

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督、三島市文化アドバイザー。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』(以上、新潮社)、『138億年の音楽史』(講談社)など。2020年6月に『フランツ・リストはなぜ〜』の韓国語版『フランツ・リスト〜ピアニストの誕生』が、韓国で出版された。最新刊は『ベートーヴェンと日本人』(新潮社より2020年11月に刊行)。公式ホームページ:<http://www.urahisa.com>



©新井保 建秀

お客様へのお願い

- ・発熱または風邪の症状がある方は、ご来場をお控えください。
- ・会場内でのマスク着用、検温、手指のアルコール消毒にご協力ください。
- ・会場内では会話をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本公演を中止する場合や公演内容を変更する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。



交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接。
- ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
- ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・車では、東名高速道路静岡I.C.から20分。日本平久能山スマートI.C.から10分。新東名高速道路新静岡I.C.から15分。静岡ハイバス千代田上土I.C.から10分。
- ・公演当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。



車椅子でご来場の方は公演前日までにご連絡ください。

【車椅子での来場のお問い合わせ】
(公財)静岡県文化財団 文化事業課
TEL.054-203-5714

